

A. 主な動き

1. 内政

▼共産党議員の離党

・4日、ドドン前第一副首相兼経済・貿易相、グレチャニ前首相及びアブラムチウク議会議員(全て共産党所属)は、共産党からの離党を表明。ドドン前第一副首相兼経済・貿易相は、離党の理由として、共産党内の意思決定プロセスにおける問題点を指摘、期限前議会選挙の回避、大統領選出、政府改革及び政治・社会の安定化が不可欠であるとし、3名は政治的に中立な大統領を支持する用意がある旨発言。

・4日、ヴォローニン共産党党首は、3名の共産党離党を認めるとしつつ、その政治家としての尊厳は失われた旨非難。

▼与党連合「欧州統合のための同盟」(AEL)の動き

・29日、ルプ大統領代行(民主党党首)は、共産党による大統領候補を支持する用意がある旨発言。

・31日、フィラト首相(自由民主党党首)は、28日に実施されたズブコ検事総長の議会への報告は不適切であるとし、同検事総長の罷免を引き続き要求する旨発言。

・2日、AEL各代表は、同日行われたAEL評議会においても大統領選出問題の解決策は見出されなかった旨発言。同日、ギンプ自由党党首は、自由民主党及び民主党は期限前議会選挙の実施を望んでおり、大統領選出に向けた協議を実質的に拒否している旨非難。

・4日、ルプ大統領代行(民主党党首)は、共産党を離党した3名と大統領選出に向けた協議を行い、グレチャニ前首相支持の可能性につき検討する意向である旨発言。

▼議会の動き

・3日、共産党議員は、同日の共産党発案による法案の審議が全て却下されたことを理由に議会を途中退出。

・4日、ルプ大統領代行兼議会議長は、大統領選出プロセスに集中する必要があるとし、大統領選挙が予定されている18日までの議会本会議の延期を旨決定。

2. 経済

▼マクロ経済

・3日、フィラト首相は、2011年のGDP成長率を6.5%と予測するが、2012年は4%に落ち込む旨の発言。

▼IMF

・10月24日～11月2日にかけてキシナウを訪問したIMFミッションは、3日、拡大融資取り決めの4回目のレビューの結果に関し、2012年前半にはモルドバに7,700万米ドルの融資が可能となることが期待される旨のプレス・リリースを発表。

▼ガス問題

・3日、フィラト首相はモスクワを訪問し、ミラー・ガスプロム社長と会談。両者は、現行のガス供給契約が年末で期限を迎えることを受け、モルドバガスとガスプロム間の新契約を締結するためガス市場の現状等につき協議。ミラー社長は、ロシア産ガスはモルドバ国内を通過し第三国にも供給されるが、モルドバとガスプロムがモルドバガスの共同所有者である旨発言。

3. 外政

▼人権問題

・2日、フィラト首相は、モルドバを訪問したピレイ国連人権高等弁務官と、モルドバにおける人権に関する法制、特に少数民族保護や人身売買等に対処するための国内の基本的な人権問題の擁護問題等に関し会談。

4. 沿ドニエストル

▼「5+2」者協議

・2日、カルポフ再統合問題担当副首相は、キシナウ訪問中のハント米 국무省モルドバ・ウクライナ・ベラルーシ担当局長と会談。両者は沿ドニエストル問題の解決のために「5+2」フォーマットに基づく政治対話を継続することを強調。

・4日、カルポフ再統合問題担当副首相は、キシナウ訪問中の「5+2」者協議仲介国及びオブザーバー国代表者による合同会議に出席、沿ドニエストル問題解決のための国際的協力に感謝の意を示し、問題解決にはモルドバの領土一体性と主権の原則を考慮した沿ドニエストルの法的地位を確立すべきというモルドバの見解を繰り返し発言。各代表者は、「5+2」者公式交渉を11月30日～12月1日にヴィリニウスにて実施する旨のチェクオリスOSCE未解決紛争問題担当特使による提案に合意。

▼カザク氏の解放

・31日、沿ドニエストル当局は、2010年3月にスパイ容疑で逮捕され、2011年2月に懲役14年の刑の判決を受けていたモルドバ国民のカザク氏を解放。同日、フィラト首相及びカルポフ再統合問題担当副首相は、カザク氏の解放を歓迎する旨発言。

・1日、アジュバリスOSCE議長(リトアニア外相)は、カザク氏の解放を歓迎するとし、本件が沿ドニエストル問題解決に向けた肯定的な契機となることを望む旨発言。

▼その他

・2日、沿ドニエストル「中央選挙管理委員会」は、ホルジャン共産党党首の沿ドニエストル「大統領」選挙出馬を正式に登録。

5. 防衛

・1日、マリヌツァ国防相は、イオニタ・ルーマニア陸軍参謀長率いる軍事代表団と会談、二国間軍事協力、共同軍事演習、軍事改革等について協議

6. 二国間関係

▼3日、平成23年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「キシナウ市立小児感染症病院における医療機材整備計画」署名式

・本件では、自動血液分析装置、超音波診断装置等の医療機材整備のため、8万7,522米ドルを限度とする額をキシナウ市立小児感染症病院に供与。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と標記しています。
(了)